



短い夏休みが終わりました。皆さんはどのような夏休みを過ごしましたか。7月27日のニュース番組で、作家の東野圭吾さんが亡くなったことを知りました。その番組では、ある授賞式で、東野さんがスピーチをしている映像（当時61歳）が流されていました。

「明日からの未来を含めた人生の中で一番若いのが今日です。今日が一番これからの人生の中で可能性があるんだから」と思って、これからも、みなさんに楽しんでいただける小説を書いて、若い作家が育ってくれたらいいなと思う」（一部抜粋）という言葉が印象に残りました。「今日が人生の中で一番可能性がある」、今日の一日を大切に過ごしてください。

一般選抜受験に向けて ～ 伸びていく秋をやり抜く～

夏休み、計画的に学習に取り組むことができましたか。今回は、大学等の一般選抜受験に向けて、特に3年生に対して、この時期を過ごす上で大切なことをお伝えします。

① まず、焦らないこと。「模試の結果に一喜一憂しない」「基礎的な問題が解けているか」

問題演習を自宅学習に取り入れ、なぜ間違えたかを考えて解き直し、やれば出来る問題を一つずつ潰していく、復習に時間をかけることが大切です。また同時進行で、解くために必要な暗記要素（知識）で、やり残している分野を潰していきます。それを12月まで続けます。9月から3ヶ月続ければ12月から本番までのマーク演習で点数が上がります。

② 特別選抜（学校推薦型・総合型）を受験する仲間と競合することはない。

周りの仲間が「特別選抜」に向けた活動（面接・小論文）に取り組む様子や、合格して喜ぶ姿を見て、勉強に集中できず、気持ちが落ち着かなくなります。しかし、特別選抜を受験した生徒は、あなたの競合相手にはなりません。そもそも募集枠が一般枠とは異なるからです。自分と同じ志望先に仲間が合格しても、その枠は最初からあなたの枠と関係がありません。もし不合格で、一般選抜で競合することになったとしても、その仲間は面接・小論文対策に時間を取られ、あなたよりは勉強が進んでいないはずです。今は、あなたがやるべきことに集中してください。南高の一般選抜合格率は高いです。努力あるのみです。

③ 1日のルーティンを決めてしまう。本番直前の生活習慣を今から作り上げる。

毎日の「ルーティン」「習慣」を決めてしまうことが効果的です。疲れていても、やる気が起こらない日でも、あらかじめ決めたルーティンで勉強に取り組みます。「朝6時起床・夜10時就寝」「朝起きて古文単語を10個確認」「英単語は通学バスで20個」「昼休みに生成AIに英作文を添削してもらう」「土曜日の午前中は数学」「模試の翌週は模試の復習、1日1教科」など、決める内容はあなた次第ですが、「やる気に頼らない」「勉強する内容を毎日考えない」ことが継続には大切だと思います。もう一度、昨年度の「合格体験記」を読み直してください。合格した先輩には、必ずその人なりの「ルーティン」があります。

進路指導部で「学習カレンダー」を作ってみました。利用してみたい方はどうぞ。

進路指導部の前の廊下に、「学習カレンダー（B4用紙）」を用意しておきました。興味がある生徒はご自由にどうぞ（年次不問）。使い方も見れば分かるようになっています。

1 年次 キャリア形成支援講座について

8月31日（月）午後、1年次で「キャリア形成支援講座」を実施しました。50名程の大学生たちが南高校を訪れ、共に活動し語り合うことで、生徒は自分自身のこと、自分の将来について考えることができたようです。生徒のアンケートを読んでもみると、感じたことが素直に書かれていました。生徒からの回答が多かった感想・気づきを紹介します。

「他人から見た自分の性格、向いている職業のイメージがわかったので、もっと将来の視野を広げたい」「失敗を認めることで成功にもつながると気づいた」「なりたい職業に就くためには周りの意見を聞くことが重要」「自分が得意なことを大切にしていきたい」



「公務員・民間就職」「総合型選抜」の出願・受験が始まります

すでに一部の専門学校や私立大学の総合型選抜では出願が始まっていますが、弘前大学などの国公立大学については、9月下旬から出願が始まります。1・2年生の皆さん、驚くほど受験は目前に迫っています。就職試験や公務員試験も9月に受験が始まり、そしてすぐに合否が決まっていきます。焦る必要はありませんが、残された時間は少ないです。1・2年生のこの時期に「何をしていたのか」「真面目に取り組んでいたのか」が大切です。合格した生徒は「能力が高い」のではなく、「準備が早い」のです。そして、その準備の差を3年生で取り返すのは困難です。「うさぎとかめ」は、うさぎがゴール直前で急けてくれたおかげで、かめは逆転できました。しかし受験では、うさぎが急けることはありません。

来年度に向けた「公務員試験対策学内講座」が、9月7日（月）から始まりました

例えば、青森市にある公務員対策の学校に弘前から電車で通うと、IC運賃で715円×往復＝1430円必要で、往復2時間かかります。それに受講費用と受講時間も合わせると大きな負担です。もちろん、受験直前期にはそのような対策が必要になってきますが、本校では東京アカデミー青森校から講師を招き、1・2年次生徒を対象とした「公務員試験対策学内講座」を9月から実施しており、早期に専門的な講義を受講し、基礎から丁寧に試験対策に取り組むことが可能です。一般教養は、本校の授業内容で対策可能ですが、「数的推理」「判断推理」など、専門的な分野の対策を早期に進めておく必要があります。興味がある生徒・保護者の方は、早めにHR担任・進路指導部に相談してください。